

第 16 期定時株主総会（2024/06/25） 事前質問および質疑応答（要旨）

事前質問および総会当日の質疑応答は以下の通りです。

なお、事前質問につきましては、議場において全てのご質問に対し、以下内容のとおり、議長よりご回答申し上げます。

また、ご質問、ご回答については、ご理解いただきやすいよう、一部要約、表現の変更等を行っている箇所があります。

1. 事前質問（3問）

質問：近年の成果は目覚ましいものがあり、経営努力に心から感謝しているが、今後、どのような分野にどのように進出して拡大していくのか。それとも、今の路線の延長なのか。具体的なビジョンを教えてください。

回答：これからも株主様からのご期待に応えるために、中期経営計画（2024-2026）では、新たな成長を目指し、次の3つを成長の柱として推進したい。

- ・ A S E A N を中心としたグローバル事業

市場の成長速度が速く、難しさもあるがスピード感を持ちつつ、慎重に進める。

- ・ サービス型ビジネスの拡充

成長著しいキャッシュレスやヘルスケア等の分野において、サービス型ビジネスの拡充を進める。

- ・ モダナイゼーション

多くの企業が抱える古いシステムを新しいテクノロジーに置き換え、お客様の競争力強化支援を行い、結果として、我々の顧客基盤の強化拡大を図る。

これらの成長の柱を軸に、これまで以上の事業拡大を今後も目指していく所存であり、ぜひご期待いただきたい。

質問：第4号議案で役員報酬の上限を2倍に引き上げるとのことだが、従業員給与や株主配当はどの程度上がっているのか。

回答：当社は人材を最重要の経営資本として、先行投資を積極的に推進している。これにより、当社の平均年間給与は2024年3月期に約800万円となり、当社が事業持株会社となった2017年3月期と比較すると23%増加している。

また、株式配当金については、事業成長に応じて継続的に充実化させていく方針とし、2024年3月期の1株当たり年間配当額は56円となり、当社が事業持株会社となった2017年3月期と比較すると、株式分割による調整を踏まえた配当金額は4倍以上となっている。

こうした事業成長を背景に、今回、グローバルに競争力ある報酬水準とし、持続的な成長を動機づける高い業績連動比率を持たせる内容に改定することとし、また、本改定は、将来にわたる継続的な企業価値向上を見据え、長期的な視点をもって上限値を設定している点についてもご理解いただきたい。

質問：役員候補者の写真が最新でないと思われるものがある。いつ撮影したのか日付を教えてください。

回答：候補者毎の個々の撮影日等の詳細については、回答を差し控えさせていただくが、役員候補者をご確認いただくにあたり、候補者の選任理由およびスキルの開示を行うなど、検討に際し必要と思われる情報開示に努めている。本質問については、貴重なご意見として承りたい。

2. 会場における質疑応答（3問）

質問：インド Vector 社（Vector Consulting Group）が持分法適用会社になっているが、当該会社の概要および所有比率を教えてください。

また、人材育成としてチャット GPT や生成 AI など取り入れ、インドとの交流も通じ成長してほしい。

回答：Vector 社はインドの経営コンサルティング会社であり、業務の上流からバリューチェーンの拡充を図るなど、業務効率化や改善などのコンサルティングを行うインドで活躍している企業で、持分比率は 20% である。

また、当該会社社員が来日し、活動いただいているほか、当社がグローバル展開を進める ASEAN 地域にも Vector 社を派遣し、コンサルティングを拡大している。今後は、人材交流も含め、ビジネスの立ち上げ等しっかり対応していく予定である。

質問：産業公共部門の当社社員にはシステム開発で大変お世話になっているが、営業部門が SE スキルの優秀性を深く理解していない。営業部門には、リスク管理も図りながら SE スキルに自信をもって営業活動を行ってもらい、受注に繋がるよう営業部門を強化してほしい。

回答：これまでの中期経営計画で推進してきた「フロントラインの強化」では、私を含む全ての役職員それぞれが相対する全てのステークホルダーに対し、能動的に考え、行動することが不可欠であるとの認識のもと、牽引してきた。営業部門においても SE への理解はもちろん、お客様を理解しながら営業活動を行うことが重要であると認識している。本年 4 月から産業公共部門の営業部門を 1 か所に集約のうえ、営業ノウハウの統一・強化を図るため組織再編を実施しており、お客様のニーズや株主様のご期待にお応えできるよう、営業活動についてもしっかりと継続する所存である。

質問：目覚ましい活躍に感銘し、かつ、中期経営計画（2024-2026）での将来に対する社長の熱い思いも伺うことができ満足しているが、マーケットの評価が低いと感じる。社長の評価や考えをお聞きしたい。

回答：当社株価の状況につき、非常にご心配をおかけしていることは申し訳なく感じている。株価は様々な要因で変動することにはなるが、これまでの実績に対する評価に加え、これからの期待感も株価に反映されるものと認識している。そうした観点から、現時点では株主様からの将来に対する高い期待にお応えできていないのではないかと考えており、新たに策定した中期経営計画（2024-2026）において、株主様のご期待に添えるよう、力強く牽引していきたい。

以上